

パワーアップ・市民活動応援事業 応募チェックシート

団体名 ( )

書類等	確認事項	団体	活動センター
応募前	大津市市民活動センターに登録したか。		
	大津市の財源による他の補助金や委託金等及び国・地方公共団体・その他外郭団体（財団法人等）の助成金や委託金等と併用していないか。		
	提出書類は全てA4版のサイズか。（提出部数1部）		
提案書	大津市内に活動拠点（団体の所在地）を有しているか。※『C：「ワカモノ」チャレンジ部門』を除く。		
	団体の所在地と規約等に記載されている団体の所在地とは一致しているか。		
	印鑑は団体の代表者の印であるか。（団体の印ではないか。）		
	補助申請予定金額は収支予算書の③大津市補助金と同額であるか。		
	完了年月日は翌年3月31日までであるか。		
事業計画書	補助事業の実績は、同じ部門（前身の部門も含めて）で3回以上採択されていないか。（※採択回数には前身の団体含む（団体の名称変更や法人化等））		
	団体設立（活動開始）年月日と規約等の設立年月日とは一致しているか。 法人の場合は、法人の登記年月日と登記簿の年月日とは一致しているか。		
	『A：スタートアップ部門』で応募の場合は、応募時点で設立6年を超えていないか。		
	団体の構成員は10人以上であるか。		
	実施する場所は大津市内であるか。（詳細な事業内容の場所など）		
収支予算書	提案する事業の経費のみを計上しているか。団体全体の事業の経費や団体の経常的な運営経費を計上していないか。		
	補助の対象とならない経費が計上されていないか。		
	内訳欄に算出根拠となる単価や数量を記入しているか。また、円単位で記入しているか。		
	賃金を計上している場合は、賃金を除く補助対象経費の合計の10%以内であるか。		
	単価（1件）5万円以上の費用を計上している場合は、見積書を添付しているか。		
	危険な行為や屋外での活動がある場合は、保険料を計上しているか。		
	会場等の使用料は料金のわかる資料を添付しているか。		
	備品購入費を計上している場合（『A：スタートアップ部門』のみ）は、合計3万円以内であるか。また、購入予定の備品のパンフレット等を添付しているか。		
	交通費を計上している場合は、2万円以内であるか。		
	支出の合計額と収入の合計額が同じか。 補助金計算式、補助金額が正しいか。（補助率、上限額など）		
詳細な事業内容・事業のスケジュールと収支予算書の整合がとれているか。（講師の招聘回数や会議室の使用回数など）			
構成員名簿	氏名の前に団体の役職名を記入しているか。また、規約等の役職数と一致しているか。		
	『A：スタートアップ部門』、『B：ステップアップ部門』の場合、大津市民が構成員の7割以上であるか。		
	『C：「ワカモノ」チャレンジ部門』の場合、若者（39歳以下の方）が構成員の7割以上であるか。		
添付資料等	団体の規約等の写しを添付しているか。		
	法人の場合は、登記簿の写しを添付しているか。		
	提案書の電子データはメール送付（3MB以内）したか。		